

## 見えないところで支えてくれている人たち

2023.9.11 校長 西谷 秀幸

先週の土曜日に、青健のドッジボール大会がありました。6年生男子が2チーム、6年生女子が1チーム出場し、女子が銀メダル、男子が銅メダルをもらいました。男子のもう1チームは残念ながらメダルはもらえませんでした。出場したチームの校長先生たちはみんな、成丘小の6年生男子2チームによる第1試合が一番見応えがあるベストゲームだったと話していました。

ちなみに、銅メダルの「銅」は「金と同じ」と書きます。銀メダルの「銀」は「金より良い」と書きます。金メダルは取れませんでした。金メダルと同じがそれ以上の素晴らしい大会でした。

皆さんもぜひ、こういった地域の行事にすすんで参加をしてみましょう。

話は変わりますが、先週の金曜日、台風の影響で方面別下校をしました。実は、金曜日の朝、学校に来たら、前の日の夜からたくさん雨が降り続いた影響で、体育館と渡り廊下の間に水がたくさん貯まってしまっていたのです。

ここに穴があるから、ここに水が流れれば安心…と思うかもしれませんが、でも、実はこの穴は空気を流すためのもので、ここにたくさんの水が入ってしまうと、せっかく綺麗に張り替えてもらったばかりの体育館の床がダメになってしまうのです。

しかし、2時間後に行ってみると、こんな風に水がほとんど無くなっていました。雨が止んだわけでもないのに、一体なぜ、水は無くなってしまったのでしょうか。

実は、こんな風にポンプを使って、貯まっていた水を吸い取り、校庭に流していたのです。一体、誰がやってくれたのでしょうか。

それは、用務員さんたちです。特に、この佐藤さんと根本さんには、朝や受付などでよくお会いしますね。

用務員さんたちは、皆さんが勉強をしている時間に、廊下やトイレ、校庭、学校の裏、学校の外などの掃除をして綺麗にしてくれています。雨の日には、昇降口が滑らないように水を外に掻き出してくれ、夏休みには、皆さんの教室の床をワックスがけして綺麗にしてくれています。



皆さんには、何度か、どんなことでも必ず「みんなの見えないところで支えてくれている人がいる」という話をしたことがありますが、用務員さんたちは、こうやって皆さんの知らないところで、皆さんが困らないように学校生活を支えてくれているのです。

では、皆さんは、「いつも掃除をしてくれてありがとうございます」などと用務員さんに御礼を言っていますか。そもそも、用務員さんに、毎朝、自分から挨拶をしていますか。

学校には、勉強を教えてくれる先生たちだけでなく、皆さんが安全で楽しく学校生活を送ることができるように用務員さん、事務室の先生たち、栄養士さんなど、たくさんの人たちがいて、皆さんの見えないところで働いてくれています。

だから、校長先生や先生たちに挨拶をするのと同じように、学校で皆さんのために働いているすべての人たちに、同じようにすすんで挨拶ができるようになりましょう。特に、用務員さんには、「佐藤さん、この前は、雨の中、水を抜いてくれてありがとうございます。」とか「根本さん、いつもお掃除をしてくれてありがとうございます」などと用務員さんの名前も入れながら、御礼を言えるといいですね。きっと喜んでくれますよ。

これで朝会のお話を終わります。

(裏面に「先生方へ」があります)

## 〈先生方へ〉

先日は、2学期が始まって3日目だったのにも関わらず、区教委訪問、ありがとうございました。また、金曜日の台風対応、土曜日のドッジボール大会の引率（これまでの指導も含めて）もありがとうございました。

さて、「見えないところで、支えている人がいる」ことは、着任以来、機会があるごとに話してきました。もちろん、用務員さんに限ったことではありませんが、「見えないところで支えている人」に対する感謝の気持ちを、ぜひ「ありがとう」という言葉と共に日常的にも伝えられるようになってほしいと思っています。そして、教員に挨拶をするのと同様に、用務員さんや事務主事さんなどにもすすんで挨拶をするようになってほしいと思い、先日の台風対応を事例に話をしました。学年の実態にあわせて、教室でも補足と指導をよろしく申し上げます。

今週は、13日（水）に学びのエリア研修会があります。今回は、「Chromebook活用推進プラン」を具現化するための授業公開です。教科によってはグループでの使用もあるとは思いますが、一人一台端末の使用は必須です。低学年は「ミライシード」中心、高学年は「Googleアプリ」中心、中学年は「ミライシード」から「Googleアプリ」への移行期（どちらも可）、というようにタブレットPCを活用した授業公開をよろしく申し上げます。

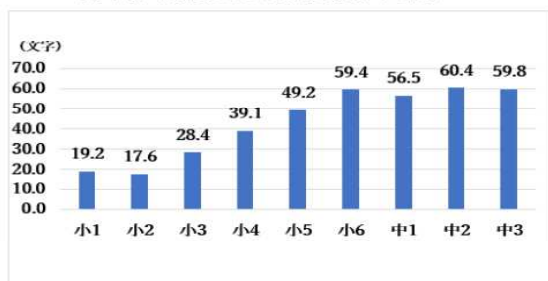
また、協議会では、タイピングについても協議していただき、各学年でどの程度まで目指すのか定めて、区のスタンダードになるような提案をしていきましょう。

今週末は、学校公開もありますが、よろしく申し上げます。

### 【資料】小学5年生「1分間の入力文字数49文字」、2015年文科省調査の8倍以上 = 『全国統一タイピングスキル調査』結果報告 =

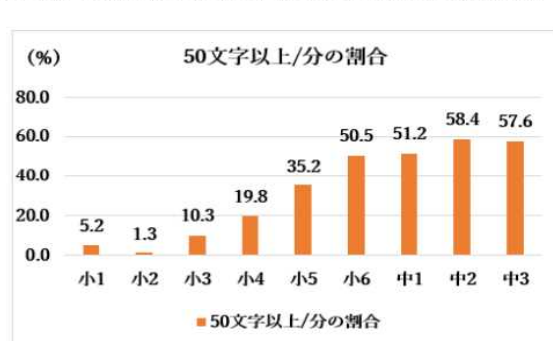
ミラボと教育ネットは、クラウド型デジタルAI教材「らっこたん」を使用した「第1回全国統一タイピングスキル調査」を実施し、その結果の一部を公開した。

【学年別 1分間あたりの入力文字数 平均値】



※1分あたりの入力文字数…1分間あたりの正しく入力できた文字の数。誤って入力したキーは数には入らない。本スキル調査では、入力速度の指標として利用。

【学年別 1分間あたりの入力文字数 50文字以上の割合(日本語)】



今回の調査は、2022年6月から7月に日本全国の児童生徒6813人が参加。それによると、1分間あたりの正しい入力文字数は学年が上がるにつれて増加傾向にあることが分かった。文部科学省が2015年に実施した情報活用能力調査において、タイピング入力の平均速度が小学校5年生で1分間に5.9文字、中学校2年生で平均17.4文字であったことと比較しても、今回の調査では小学校5年生で1分間に49文字と、2015年調査の8倍以上となっており、中学校2年生で平均60文字と大幅に増えていることも明らかになった。また、入力文字数（日本語）50文字以上の各学年の割合が、小学6年生以上で過半数を超える結果となった。

小中学生のタイピングスキルが大幅に伸びていることは分かったが、同時に、個人差が大きいことも明らかとなった。1分間あたりの正しい入力文字数が少なく、入力速度が遅い児童・生徒が一定数いることから、苦手意識をもつことなく、スムーズにスキルを向上させることが課題だという。

(2022年9月21日・2022年10月12日) <https://ict-enews.net/2022/09/21edu-net-3/>